

「おべん当とわたし」

広小校 4年 水ず ゆな

わたしは母が土曜日お仕事の時、姉とおべん当を作ります。

その時まずお米をたきます。初めのころはといだお米の水を流す時お米までいっしょにシンクに流れてしまっとうまくできませんでした。わたしはそのたびに「もったいないなあ……。なんでうまくできませんいんだらう？」

とモヤモヤした気持ちになるのでお米をとぐのが好きではありませんでした。

ある時その事を母に相談したら、「ザルをしいてみたらどう？」

と言われまじた。そうしたらお米もムダに流れる事もなくなりお米をとぐ事が好きになりました。

わたしの家で食べているお米は、ひいおばあちゃんが作っています。わたしのえ父とそ母が毎年田植えやいねかりの手伝いに行っ

います。なのでわたしの母はお米をいつも大切にしています。そんな母のすがたをわたしも小さいころから見ているのでお米は大切な物と思っています。

わたしは元々お米が大好きです。自分でお米をたくようになってお米がたき上がる時間もとても好きになりました。なぜかというですいはんきを開けた時にお米がっやつやしていて、いいかおりがするからです。

お弁当に入れるおにぎりを作る時ホウルに入れてさましてからにぎります。前に母が「おいしくなれ。おいしくなれ。と、気持ちよこめてにぎったら上手にできるよ。」と、教えてくれました。なのでわたしはいつも気持ちよこめてにぎるようになっています。

上手に三角にならない時もあるけどいつもおいしいおにぎりができます。

おかずはたまご焼きやウインナーなど家のれいぞうこにある物を使って姉と色々作ります。時々ケンカになる時もあるけどお弁当

を作るのはとても楽しいです。

出来上がったら、タブレットで写真を撮って
て単身ふにん中の父に送ります。

お昼になったら、姉といっしょにおべん当
を食べます。

「おいしいね。」

と、言いながら食べます。母も仕事から帰っ
たらわたしたちが作ったおべん当を食べてく
れます。

「とってもおいしいよ。上手にできたね。作
ってくれてありがとう。」

と、言ってくれます。わたしはおべん当を作
るのも好きだけど、母がよろこんでくれる顔
を見るとうれしくなるのでこれからもおべん
当作りをがんばりたいです。

そして、単身ふにんをがんばっている父に
もわたしの作ったおべん当を食べてもらいた
いです。その時は、今まで作ったことがない
くらい大きいおにぎりを気持ちよこめて作っ
てあげたいです。